

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	国語探究	学年	第2学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	1 単位	教科書	古典読本 古文編、漢文編（明治書院）				
補助教材	新成古典（尚文出版）、学ぶぞ 古文と漢文（尚文出版） 核心古文単語351（尚文出版）、カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	博雅の三位と鬼の笛（沙石集）	用言の活用について復習する。	期末考査
	5月	養和の飢饉（方丈記）	古文を読むために必要な語句の量を増やす。 古文特有の表現に注意して内容を捉える。	
	6月	蛭雪の功（蒙求）	音読を通して、漢文の響きやリズムを体感する。	
	7月	太公望（十八史略）	訓読のきまりについて復習する。 再読文字について復習し、否定形について理解する。	
2 学期	8月	通ひ路の関守（伊勢物語）	助動詞の文法的意味、活用、接続などについて復習する。	期末考査
	9月		和歌のリズムや修辞などの表現の特色について理解を深める。	
	10月	娵捨山の月（大和物語）	登場人物を正確に把握し、内容を捉える。	
	11月	塞翁が馬（淮南子）	語句の読みや意味を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増やす。	
	12月	燕雀安くんぞ鴻鵠の志を 知らんや（十八史略）	疑問形について理解する。 反語形について理解する。 書き手の目的や意図を捉えて内容を解釈する。	
	12月			
3 学期	1月	小野の雪（伊勢物語）	敬語の種類、意味、敬意の方向などについて復習する。	学年末考査
	2月	三船の才（大鏡）	敬語の種類、意味、敬意の方向などについて復習する。	
	3月	おもて歌のこと（無名抄）	文章の種類を踏まえて、構成や展開、筆者の思いなどを的確に捉える。	
	4月	五十歩百歩（孟子）	使役形、受身形、限定形について理解する。	
	5月	王昭君（西京雜記）	句法理解が現代語訳の作成、ひいては内容把握につながることを理解する。	

学習の方法	事前学習では、言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら古典を理解していきましょう。授業中は大事なところをメモしながら、丁寧に文字を書くように心掛けましょう。文法的知識を習得し、主旨を把握することはもちろん、今も昔も変わらないものの考え方や見方を捉えることが大切です。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・レポート・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		